

おおつる交流センター便り よろしえ

No.6

平成29年9月13日
大津留まちづくり
協議会発行
Tel:080-7989-1497

第4回おおつるマーケット開催

8月27日(日)に第4回おおつるマーケットを開催。残暑厳しい中でしたが、多くの方にお越しいただきました。

食べ物があつた方がいい」とのご要望にお応えし、庄内町長野の畑のストランヒだまり「さんがピザを、大分市のカンパーニユさんがパンを販売。また、挾間の「ソタファーム」さんに有機野菜を販売していただきました。さらに、庄内梨や海産物も販売し、品ぞろえの充実を図りました。会場に竹馬や竹ぼうしを置き、自由に遊べるようにしました。



午後からはおおつるガーデンでジャガイモの植え付けを行いました。収穫が楽しみです。

次回おおつるマーケット

●日時 9月24日(日)9時～13時 毎月第4日曜日
※次回から開催時間を1時間繰り下げます。

笑いヨガ体験会 ※詳細は、別途チラシでご案内します。

●日時 9月27日(水)10時～12時

●場所 随善寺 瀬口

●参加費 無料

おおつるのひとびと④

しんじい たけし

今回は当協議会事務局長の首藤 啓治さん 54 柚の木です。



1. 経歴を教えてください。
— 高校卒業後、県警が役場か迷ったが、庄内にとどまり浸かっやっていきたいと思いい役場に決めた。最近では、勤務後に大学の経済学研究科で地域経営政策や農村発展論などを学び、今春に学位を取得した。

2. どんな大津留地区にしたいですか？

— 何もしなければ大津留はなくなってしまう。外に出ている若い世代が「すれ戻ってきたい」、地区外の人には「住んでみたい」と思ってもらえる地域づくりをしたい。

大津留には目に見えない資源 技術や知恵がたくさんあるので、それらを活用し、豊かな地域にしていきたい。地域の皆さんには何でも提案していただき、そして一緒に挑戦していきたい。

インタビューを終えて

忙しい中、草刈りをされている姿をよく拝見していましたが、農村の風景を大切にしたいという思いでされているとお聞きし、私もその思いで地域に貢献したいと感じました。

8月31日付け大分合同新聞朝刊に当協議会の取り組みが紹介されました。私たちの思いが広く伝わればと思います。と同時に、着実に実行していかなばと自身が引き締まりました。私も記事に載せてさせていただきます恐縮です。(あ)